

各 位

会 社 名 オンキヨーホームエンターテイメント株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 大 舩 宗 徳  
 ( J A S D A Q ・ コード 6 6 2 8 )  
 問 合 せ 先  
 役職・氏名 取締役 林 亨  
 電 話 番 号 0 6 - 6 7 4 7 - 9 1 7 0

(訂正)「2021年3月期決算ハイライト」の一部訂正について

当社は、2021年5月20日に発表いたしました「2021年3月期 決算ハイライト」につきまして、一部誤りがございましたので、下記のとおり訂正いたします。訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

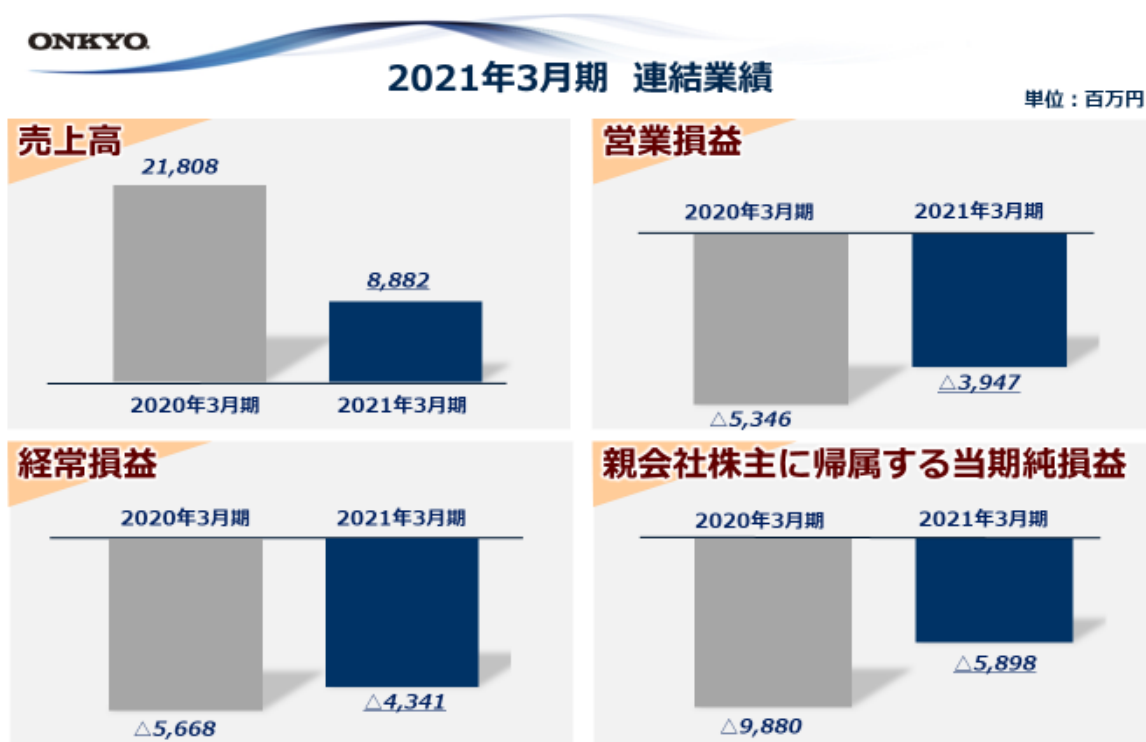
1. 訂正の経緯と理由

2021年5月20日付で発表いたしました今期決算短信において、マレーシア、インドの子会社については、新型コロナウイルス感染症の影響により会計監査が終了していないため数値が修正となる可能性がある旨記載をしておりましたとおり、当該時点においては、当社子会社であるマレーシアの ONKYO ASIA ELECTRONICS SDN. BHD. およびインドの Minda Onkyo India Private Limited. の監査手続きが大幅に遅延している中、監査前の決算数値をもとに発表せざるを得ない状況となっております。このたび、当該子会社の監査も終了し、最終的な数値が確定したことで、今期決算短信に記載の財務諸表全般において、軽微ではありますが数値の変更が生じることになりましたため、その訂正を行うことになりました。

2. 訂正内容および訂正箇所

3項

(訂正前)



(訂正後)

ONKYO

## 2021年3月期 連結業績

単位：百万円



© 2021 Onkyo Home Entertainment Corporation

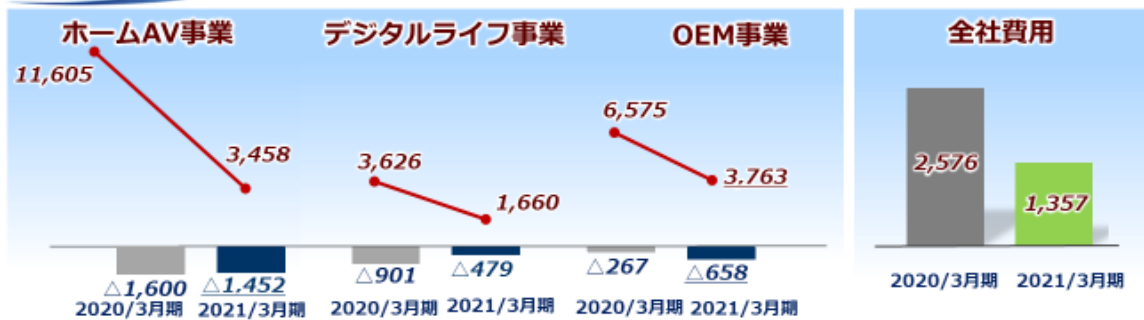
4項

(訂正前)

ONKYO

## セグメント状況 累計

単位：百万円



### ホームAV事業

日本国内では住宅メーカー向けのインストールビジネスをはじめとした高付加価値商品に注力したものの、営業債務の支払い遅延が継続したことで、生産を縮小・停止せざるを得ず、顧客の要望に対して充足されない状況が続いたことから、販売機会を損失し売上が減少。売上減少に伴う売上総利益の減少となったものの、人員削減及び役職ポスト数の見直しによる組織のスリム化、拠点集約などの合理化策を実行に移した結果、固定費は大幅に減少したため、前年同期比147百万円損益改善。

### デジタルライフ事業

「サマンサワイヤレスイヤホン」や人気アニメやサマンサタバサ、FULL-BKブランドとのコラボ製品が堅調に推移し、Klipsch社のワイヤレスイヤホンも好調に販売が続いたものの、AV事業同様に、新型コロナウイルス感染症による生産委託工場の操業ダウンによる生産減少の影響や、営業債務の支払い遅延に伴う、生産を縮小・停止による販売機会損失が発生し、売上減少。売上減少により売上総利益は減少したものの、高付加価値製品の販売に注力し、採算性を追求した結果、前年同期比422百万円損益改善。

### OEM事業

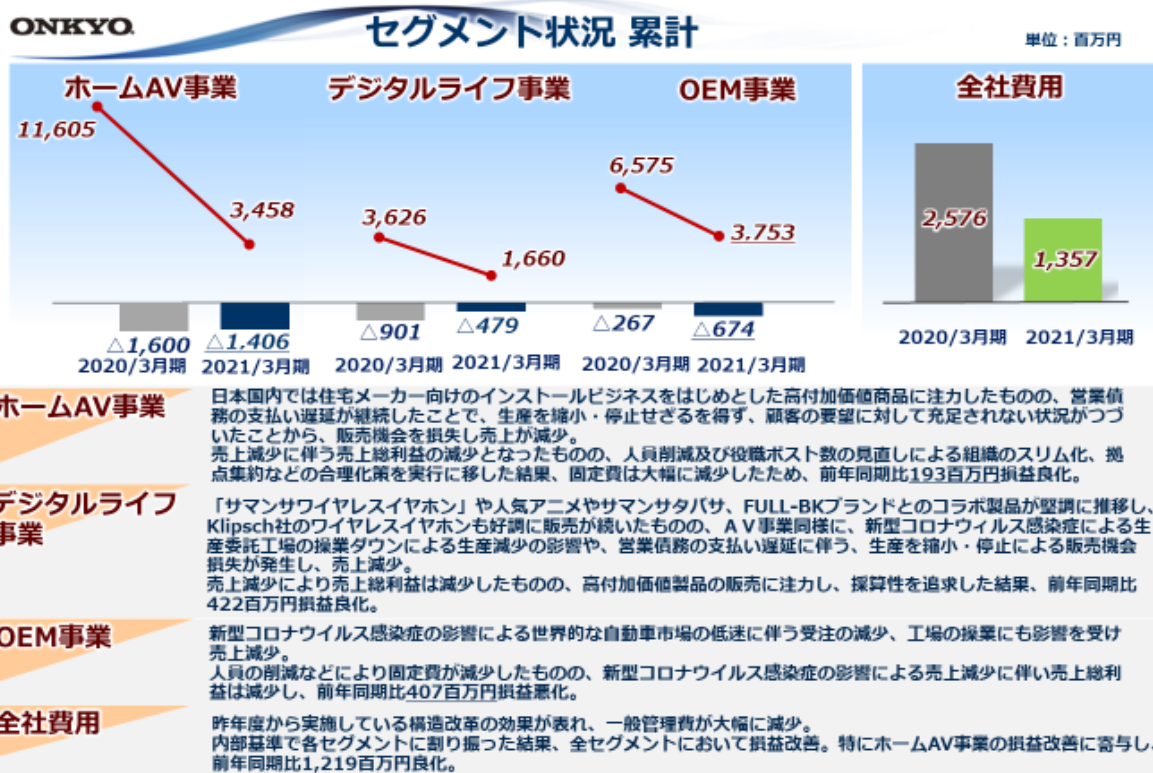
新型コロナウイルス感染症の影響による世界的な自動車市場の低迷に伴う受注の減少、工場の操業にも影響を受け売上減少。人員の削減などにより固定費が減少したものの、新型コロナウイルス感染症の影響による売上減少に伴い売上総利益は減少し、前年同期比391百万円損益悪化。

### 全社費用

昨年度から実施している構造改革の効果が表れ、一般管理費が大幅に減少。内部基準で各セグメントに割り振った結果、全セグメントにおいて損益改善。特にホームAV事業の損益改善に寄与し、前年同期比1,219百万円改善。

© 2021 Onkyo Home Entertainment Corporation

(訂正後)



以上